



E-デコ活 NEWS

さいたま市では、令和2年にゼロカーボンシティを目指すことを表明し、令和3年には「さいたま市気候非常事態宣言」を発出し、「みんなでアクション ともに未来へ」を合言葉に、市民・事業者と連携を図りながら脱炭素社会に向けた持続可能な都市の実現を目指しています。

E-デコ活 News は、市の脱炭素化に向けた取組について、「見える化」するとともに、市民の皆様にも地球温暖化対策を実践していただくヒントをお示ししていく予定です。

さいたま市の取組

2011年度
＜H23＞

E-KIZUNA Project (2009年～)

2015年度
＜H27＞

次世代自動車・スマートエネルギー特区

スマートシティさいたまモデルの推進

2019年度
＜R1＞

COOLCHOICE賛同

2020年度
＜R2＞

SDGs未来都市に選定

ゼロカーボンシティを表明

2021年度
＜R3＞

総合振興計画・地球温暖化対策実行計画を改定

気候非常事態宣言を発出

「ゼロカーボンシティ推進戦略」策定

2022年度
＜R4＞

脱炭素先行地域の選定(国の補助事業)

重点対策加速化事業の選定(国の補助事業)

2023年度
＜R5＞

デコ活宣言

＜国等の動向＞

パリ協定の採択

COOL CHOICEを旗印に国民運動を展開

国が「地域循環共生圏」を提唱

移行



国が2050年カーボンニュートラルを宣言



「改正地球温暖化対策推進法」の成立

国が地域脱炭素ロードマップを公表

「デコ活」を旗印に新たに国民運動を展開

今地球が危ない！



出典：「地球温暖化の現状」（環境省）

- ✓ 太陽からのエネルギーで地上が暖められます
- ✓ 地上から放射される熱を温室効果ガス※が吸収・再放射して大気が暖められます
※温室効果ガスの種類 二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等
- ✓ 温室効果ガスの濃度が上がると
- ✓ 温室効果がこれまでより強くなり、地上の温度が上昇します

これが地球温暖化の原因です！

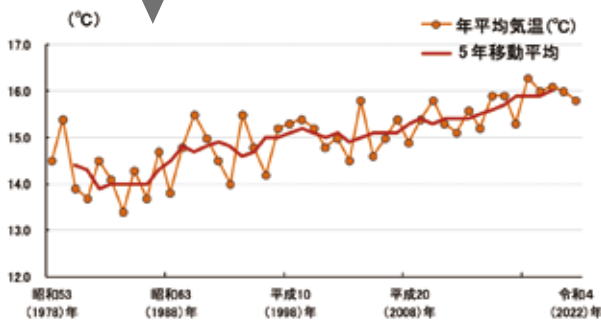


氷河の融解や海面水位の変化、洪水や干ばつなどの影響、陸上や海の生態系への影響、食料生産や健康など人間への影響が観測され始めています。

さいたま市にも地球温暖化の影響がでています！

【年平均推移】

40年で約2℃上昇！



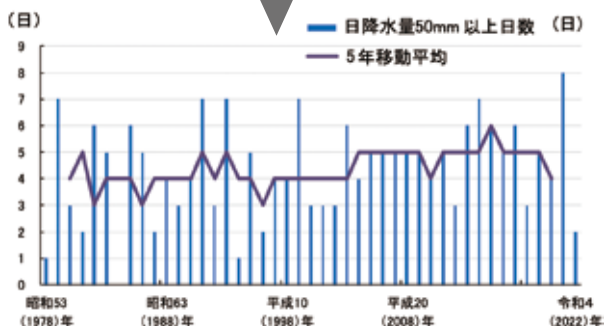
【猛暑日の年間日数の推移】

猛暑日(35℃以上)が40年で15日増加！



【日降水量50mm以上の年間日数の推移】

50mm以上の日降水量が(35℃以上)が40年で7日増加！



- ・ 昭和53 (1978) 年から令和4 (2022) 年における、さいたま観測所における観測結果を調べてみたよ！
- ・ 年平均気温は昭和53 (1978) 年から令和4 (2022) 年までに1.3℃上昇しており、気温の上昇に伴い、猛暑日の年間日数は増加していることが分かるね！
- ・ 地球温暖化の問題は、健康被害や災害など「待ったなし」の状態なんだ！

出典：さいたま観測所の気象データ（気象庁）より作成



公共施設においても脱炭素化に取り組んでいます！

- 太陽光発電設備や蓄電設備等の導入を積極的に進めるとともに、再生可能エネルギーを含む低炭素電力の調達などを通じて、再生可能エネルギーを導入拡大してます！



▲全市立学校(168校)への太陽光発電設備及び蓄電池の導入
※1世帯あたりの平均年間受入使用量を4,000kwhとして計算

一般家庭約800世帯分※の電気を発電します

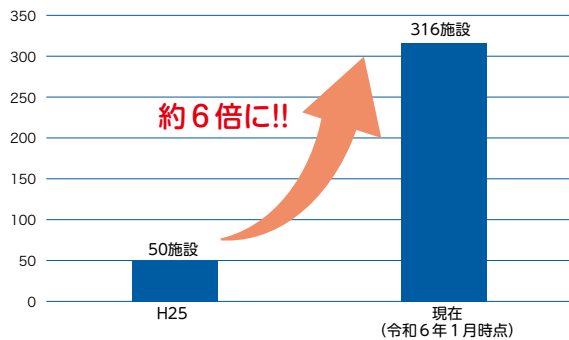
資源の有効活用。
ごみ焼却による熱で発電した電力は、地域で活用を検討



▲サーマルエネルギーセンター完成イメージ

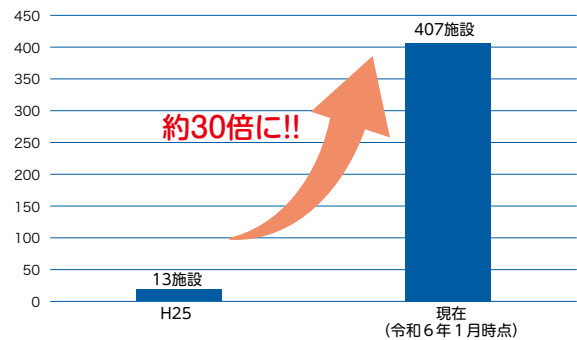
さいたま市の太陽光発電設置状況！

10年間の公共施設の太陽光発電設備の設置状況の変化



さいたま市のLED設置状況！

10年間の公共施設のLEDの設置状況の変化



● 小さなことから……

【昼休み中に電気を消す】



▶19g/日 Co2削減

【ごみの分別】

※容器包装プラスチックの分別リサイクル



▶4kg/人 Co2削減

【エコドライブ】



▶148kg/人 Co2削減

【パソコンの省エネ】

(ライト調節・閉じる)



▶21g/日 Co2削減

● 市民・事業者との協同連携

【打ち水大作戦】



昔ながらの工夫である打ち水を、参加者で一斉に行い、涼しさを体感

【環境フォーラム】



環境への関心を持っていただくための環境教育・学習の場を創出

【Jリーグチームとの連携】



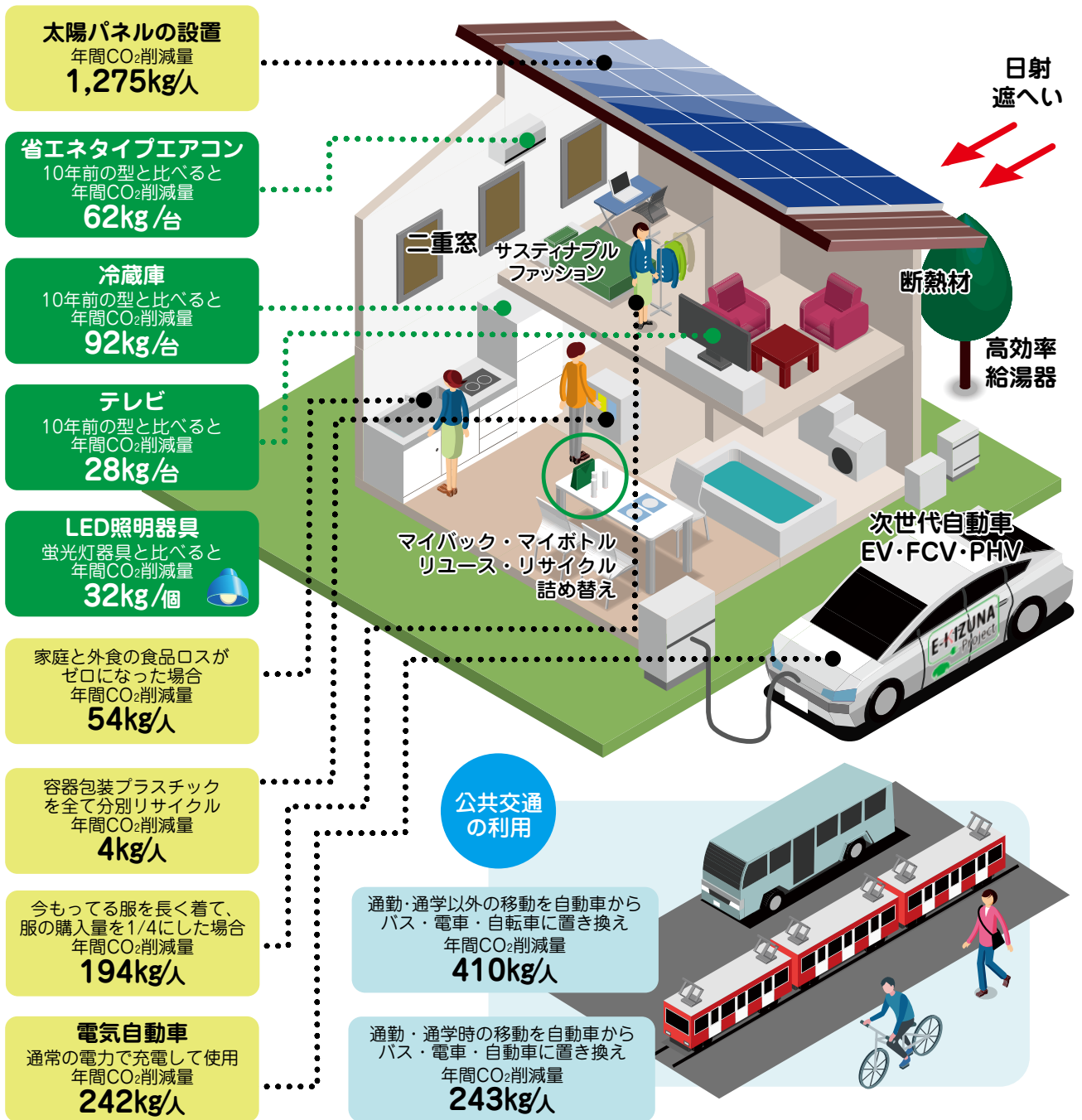
電力使用によって排出される二酸化炭素を全てオフセットすることで実質的にイベントの脱炭素化

【出前講座など説明会】



本市の脱炭素の取組など説明

市民一人ひとりの行動でこんなに変わります!!



※環境省HP、一般財団法人家電製品協会の内容を基に作成



無理せず脱炭素化!

合言葉は
「みんなでアクション
ともに未来へ」





さいたま市の令和3年度の温室効果ガスは
合計 **約630万t-CO2** だよ！
さいたま市人口134万人の皆様が行動を変えると…

全ての市民が家庭と外食の食品ロスをゼロにすると

👉 なんと年間 **約7.2万t-CO2削減！**

全ての市民が通勤で自動車に乗らず公共交通・自転車・徒歩を利用すると

👉 なんと年間 **約14.4万t-CO2削減！**

全ての世帯でエアコンを適切に使用すると(室温目安を夏28℃、冬20℃)

👉 なんと年間 **約2.4万t-CO2削減！**

全ての世帯が1つの照明を白熱電球からLED照明器具に交換すると

👉 なんと年間 **約2.8万t-CO2削減！**

全ての世帯が冷蔵庫を10年前の型から最新の省エネ型に買い替えると

👉 なんと年間 **約10.4万t-CO2削減**

全て合わせると、**約79,000人の市民が1年間に出すCO2排出量を削減**できるんだ！！



ほかにもできることはたくさんあるよ！！

環境配慮行動例	分類	削減量※	
マイボトルの使用	ペットボトルの削減	1本当たり	70g-CO2
マイバッグの使用・レジ袋辞退	レジ袋の削減	1枚当たり	33g-CO2
マイ箸の使用・割りばし辞退	割りばしの削減	1膳当たり	8g-CO2
マイカトラリーの使用・カトラリー辞退	プラスチックの削減	1本当たり	20g-CO2
フードドライブへの参加	ごみの削減	1個当たり	390g-CO2
賞味(消費)期限間際の食品を購入する	ごみの削減	1個当たり	226g-CO2
部屋の電気の消灯	電気使用量の削減	1時間当たり	16g-CO2
エアコン温度-1℃(夏季)	電気使用量の削減	1時間当たり	14g-CO2
エアコン温度+1℃(冬季)	電気使用量の削減	1時間当たり	16g-CO2
水道をこまめに止める	水使用量の削減	1秒当たり	0.05g-CO2
地元産の食品を選ぶ	燃料の削減	1個当たり	24.4g-CO2
自動車の不使用	燃料の削減	1km 当たり	173g-CO2

※資源エネルギー庁HP、東京都水道局HP、グリーン購入ネットワークHPの内容を基に算出



タウンミーティング

「地球温暖化対策について考えよう～みんなでアクション とともに未来へ～」をテーマに
「タウンミーティング」を実施しました！

【概要】

タウンミーティングとは、各区に市長が訪問し、参加者のみなさんと直接、テーマに沿って意見交換を行う場です。

いただいたご意見は今後の計画や施策を検討する上での参考とさせていただきます。

【開催時期・参加人数】

令和5年7月から9月に全10区に加え、オンラインでの開催をしました。総勢160名（うち傍聴者9名）の幅広い世代の方にご参加いただき、貴重なご意見をいただきました。

開催区	開催日	開催場所	参加者（うち傍聴者）
浦和区	令和5年7月20日（木曜日）	浦和コミュニティセンター	16名（1名）
見沼区	令和5年7月22日（土曜日）	見沼区役所	15名（2名）
西区	令和5年7月22日（土曜日）	馬宮コミュニティセンター	14名（0名）
大宮区	令和5年7月27日（木曜日）	高鼻コミュニティセンター	15名（2名）
南区	令和5年7月29日（土曜日）	武蔵浦和コミュニティセンター	17名（0名）
中央区	令和5年7月29日（土曜日）	与野本町コミュニティセンター	12名（1名）
岩槻区	令和5年8月26日（土曜日）	岩槻駅東口コミュニティセンター	15名（1名）
オンライン	令和5年8月29日（火曜日）	オンライン	10名（2名）
北区	令和5年9月2日（土曜日）	北区役所	15名（0名）
緑区	令和5年9月2日（土曜日）	緑区役所	17名（0名）
桜区	令和5年9月9日（土曜日）	桜区役所	14名（0名）

キラッと光る事業者の取組も紹介します！



▲メガソーラー推進事業 (やまぶきエネルギーパーク)

- ・平成26年4月に運転を開始したメガソーラー。
- ・24,345㎡の敷地に太陽光パネルが7,256枚設置
- ・最大出力は1600kW
- ・この施設での年間発電量は※約400世帯が1年間に消費する電力量に相当。
- ・隣接している駐車場は、EV急速充電器1台と普通充電器2台が設置。
- ・やまぶきエネルギーパークには100kWhの大規模蓄電池が設置されており、災害等による停電時においても、コンセント及び電気自動車用充電器の使用が可能。

※1世帯あたりの平均年間受入使用量を4,000kWhとして計算



▲卒FIT電力を活用した 地産地消モデル事業

- ・太陽光発電の※卒FIT電力を事業者が買い取るとともに、太陽光発電システムの異常通知サービスや相談窓口の設置
- ・買い取った太陽光発電の卒FIT電力をさいたま市が所有する複数の公共施設などに供給
- ・太陽光発電システムを設置し、再生可能エネルギーを使用したEV急速充電サービスを提供

※卒FIT電力
固定価格での買取期間（住宅用太陽光発電の場合10年間）が終了した電力。（2019年11月以降、順次期間終了を迎えています。）市内の大気状況を測定するための測定局で、卒FIT電力を活用。



▲カーボンオフセット自販機設置事業

- ・市公園内に事業者が※カーボンオフセット自販機を設置（管理者：公益財団法人さいたま市公園緑地協会）
- ・公益財団法人さいたま市公園緑地協会から売り上げの一部をさいたま市に寄附
- ・さいたま市は「ふれあい福祉基金」に充当し、基金設置目的に沿い、活用

※カーボンオフセット自販機
自動販売機稼働時の年間消費電力量に相当するFIT非化石証書（太陽光・風力・小水力・地熱・バイオマスなどの、再生可能エネルギーを電源としたFIT電源で発電されている電気に対して発行される証書）を取得することにより、再生可能エネルギー由来の電力を使用したとみなされ、CO2排出量を相殺（カーボンオフセット）することができる自販機。

タウンミーティングで寄せられたアイデアのまとめ

① さいたま市の地球温暖化対策について

さいたま市の施策を周知・見える化してほしい!

- ・計画だけでなく結果をもっと発信してほしい!
- ・脱炭素先行地域に選ばれていることをもっと広めるべき!
- ・家庭にチラシを配ったり、そういうアピールが必要!
- ・各区役所に「ゼロカーボン推進シティさいたま」などののぼりを立てたり、市役所の車に書いて市民に広める!
- ・さいたま市の温暖化対策といえばまさにこれだというのを1つ、2つ決めて、それを明確にして、広く内外にアピールしていただきたい!
- ・温暖化の問題について、若い人たちへもっと周知した方がよい!

太陽光発電は〇〇してほしい!

- ・太陽光発電機材、特にフィルム化についての事業に取り組んでいる企業と連携して欲しい
- ・さいたま市の太陽光発電のデータを公表してほしい!
- ・東京都のように太陽光パネル設置を義務付ける条例をつくってはどうか!
- ・太陽光は廃棄の問題等もあるのでデメリットも明示すべき!
- ・避難場所にもなるので、学校の太陽光パネルのメンテナンスをしっかりとしてほしい!

② 今後重点的に取り組んでほしい分野について

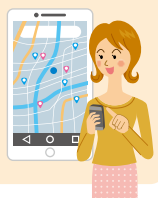
電気自動車

- ・電気自動車の充電器場所を広報してほしい!
- ・電気自動車の展開は一旦足止めし、水素の事業に取り組んでほしい!
- ・電気自動車にすることによって発生するメリットを周知して欲しい。



交通環境の改善

- ・交通渋滞の緩和をお願いしたい!
- ・バスなどの交通機関を充実してほしい!
- ・公共交通機関の利用を促進するためにポイントカード式のアプリを作成してほしい!
- ・自動車を減らして、もっと自転車を普及させてほしい!
- ・自転車の走行距離によってポイントがたまって景品がもらえるようにしてほしい!



防災(適応)の対策

- ・災害時の一時避難施設などしっかり周知して欲しい!
- ・台風や大雨の際、河川から水があふれてしまうので対策をお願いしたい



緑や公園

- ・緑地保全や緑地の拡充してほしい!
- ・まちなかにもっと公園を造ってほしい!
- ・街路樹を整備してほしい!
- ・間伐材を使用し、その収益で森林を整備してほしい!



③ 身近に始める地球温暖化対策について

学校や職場、家庭で実践してます!

- ・アサガオとゴーヤで暑い日差しの差し込みを防止!
- ・ペットボトルキャップの分別を行い、リサイクル活動!
- ・電気をこまめに消す!
- ・果物の皮などは日干しでゴミ削減!
- ・マイボトル・マイ箸を持参!
- ・打ち水で冷却!



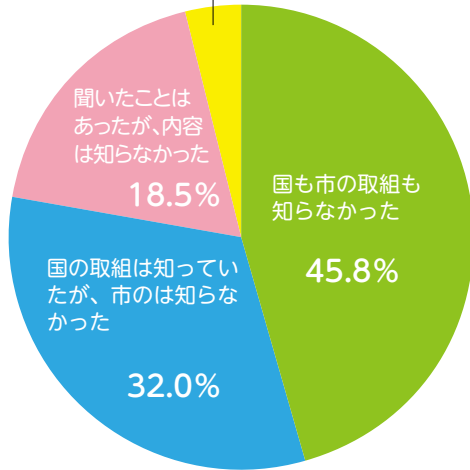
まだまだ知られていない市の取組

●令和5年 第2回 さいたま市インターネット市民意識調査結果

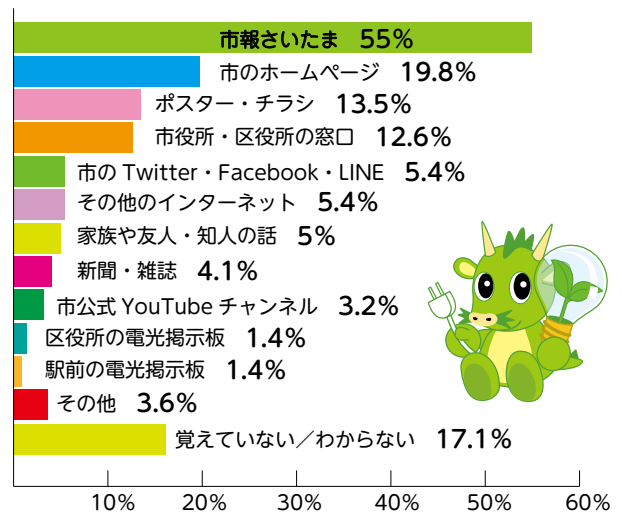
さいたま市在住の18～69歳の男女 18～29歳、30代、40代、50代、60代の5年齢層において、男女各100サンプル、合計1,000人

Q1 さいたま市の温暖化対策の認知度

内容まで知っていた 3.7%



Q2 さいたま市の温暖化対策の認知経路



市の取組など分かりやすく伝えていきますので、ご活用ください！

●さいたま市の再エネなどの取組について「見える化」しました！

公共施設における太陽光発電設備やLED照明器具の設置状況などについて「見える化」しました。

再エネ設置
状況
はこちら➡



さいたま市ホームページで
環境見える化

●直接話を聞いてみたい！

市民等の皆さんが開催する集会や会合等に職員が出向いて、温暖化対策等を説明する出前講座を実施しています！



出前講座
状況
はこちら➡



さいたま市ホームページで
出前講座

●家の光熱費削減！

うちエコ診断で光熱費削減につながる
効果的な取り組みが分かります。



うちエコ診断
の詳細は
こちら➡



さいたま市ホームページで
うちエコ診断

市ホームページでは、脱炭素化に関する

これまでの取組などを掲載しています。

今後の取組についても、適宜お知らせしていきますのでご参考ください。

ご不明な点はお問い合わせください！

さいたま市 環境局 環境共生部 ゼロカーボン推進戦略課

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 (さいたま市役所7階)

TEL：048-829-1324 FAX：048-829-1991



このチラシは、3,000部作成、1部当たりの印刷経費は49.5円です。